

RGF Staffing 環境方針

日本国内版

Version 1.0

2026年4月1日

はじめに

RGF Staffing は、その事業のあらゆる側面において、地球環境に配慮した運営に取り組んでいきます。また人材サービス業界のグローバル・プロバイダーとして、環境への影響を最小限に抑え、持続可能な活動を推進していくという役割を担っていきます。本方針は、エネルギー管理、温室効果ガス排出量（GHG 排出量）、廃棄物、節水、出張・移動・通勤、物品・サービスの購入など、環境面における当社の主な取り組みについてまとめたものです。

RGF Staffing は、事業活動のあらゆる側面にサステナビリティ（持続可能性）を取り入れ、「環境に対する責任を果たす」という企業文化を育んでいくことを目指しています。本方針を実践し、クライアントや従業員へ質の高いサービスを提供し続けるとともに、より持続可能な未来の実現に貢献していきます。

範囲

本環境方針（以下「本方針」）は、RGF Staffing グループの全従業員に適用されます。本方針はまた、以下に挙げる RGF Staffing の子会社およびその傘下のブランドにも適用されます。

RGF Staffing 本社
RGF Staffing オランダ
RGF Staffing ベルギー
RGF Staffing フランス
RGF Staffing ドイツ
Staffmark Group - 米国
CSI Companies - 米国
RGF Staffing ANZ - オーストラリア、ニュージーランド
RGF Staffing HKSG - 香港、シンガポール
Recruit Staffing - 日本
Staff Service Group - 日本
RGF Staffing 英国

適用される法律と本方針の規定が同じ主題を扱う場合、より高い基準が適用され、法令遵守を保証するものとします。

原則

RGF Staffing は、以下の実現に努めます。

- 環境保全に関して適用されるすべての法律、規制、基準を遵守した事業運営を行い、自社を監視する仕組みを構築する。
- 企業活動が環境に及ぼす影響を適切に反映するような、環境に関する企業目的・目標を設定し、これらの目的・目標の進捗を測定するための手段を備える。また必要に応じ、これらの目的・目標を見直し、改定する。
- 定期的な見直しの結果に基づき、また規制の改正、顧客のニーズ、技術の進歩、科学的知見、地域社会からの期待などを踏まえ、環境管理に関する方針、プログラム、実績を継続的に改善していく。
- サステナビリティに関する研修プログラム、環境に配慮した職場づくり、環境目標達成への貢献に対する評価を通じて、従業員のサステナビリティに対する意識向上や取り組みへの参加を推進していく。
- RGF Staffing のサプライヤーに対し、RGF Staffing の基準に沿った環境保護目標・施策の採用や活動改善を行うよう働きかける。
- エネルギー使用量、GHG 排出量、廃棄物など、環境に関するトピックについて、主要なデータを測定・追跡していく。また、省エネルギー化の推進、持続可能なエネルギー源の利用、節水や廃棄物削減、再利用やリサイクルの推進などできることを実践し、エコロジカル・フットプリントの削減に取り組む。
- 気候変動リスクの評価を通じて、従業員や事業を展開する地域社会に影響を及ぼす可能性のある環境リスクを最小限に抑える。（リクルートホールディングス対応）

本方針は、リクルートホールディングスの[環境マネジメントシステム](#)に準拠しています。